

4つのチェンジで市民と野党で政権交代 新しい日本へ

- 辺野古新基地建設中止
- 核兵器禁止条約の批准
- 男女の賃金格差をなくす
- 選択的夫婦別姓の実現
- 「痴漢ゼロ」の実現、性暴力の根絶
- 再エネ、省エネでGDPも雇用も拡大
- 2030年度までにCO₂を60%削減
- 原発だのみから石炭火力も原発もゼロへ
- 高齢者の医療費負担増中止
- 病床の削減計画撤回
- 最低賃金を時給1500円に
- 消費税を5%に減税
- 大学の学費を半額に

平和外交を

4. 憲法9条生かした

3. ジェンダー平等

2. 気候危機打開へ

1. いのちと暮らし最優先に

コロナ大失政の転換を

科学を無視し、国民にまともな説明をせず、「原則自宅療養」などコロナ対応まで「自己責任」おしつけ—自公政権では国民のいのちを守ることはできません。再び感染爆発と医療崩壊を絶対に起こさないコロナ対策に転換します。自公政権に審判をくだし、政権交代を実現して国民の声にしっかりと応える日本に変えていきます。



プロフィール
●1967年9月生まれ。小学校3年まで伊勢市在住。●茨城大学大学院農学修士課程修了。東京の食品会社を経て、日本共産党三重県委員会に勤務。●衆院選挙や参院選挙の候補者として活動。●津市議1期4年。旧4区に出馬。●現在 / 日本共産党南部地区委員長

日本共産党
なかがわ 民英
中川 ひとみ
54歳

比例は日本共産党へ 農林漁業の再生で雇用拡大、国づくりの柱に

変えよう。今の政治を

私は地元テレビ局で23年間アナウンサー、また記者として、三重県の隅々まで足を運び、この地域に住む人たちの様々な声を聞かせていただきました。ここ三重南部は神宮や熊野古道といった「こころのふるさと」があり、豊かな自然に育まれた農林水産物に恵まれています。一方で、南部と北部の地域間格差、過疎・高齢化、またコロナ禍による生業の厳しさも目の当たりにしました。そんな地域の声をしっかりと届けなければならない。さらに、これまで報道の立場でこの国の政治を見てきました。強いものがより強くなり、困っている人や苦しんでいる人は置き去りにする。そんな今の政治を変えなければいけない。それが私、ぼうの秀治の原点です。私は途中で投げ出しません。「変えよう。今の政治を」

あなたとぼうのの3つの約束

01 格差をなくす

- ☆大企業や富裕層向けの優遇税制の税率を引き上げ、年収の低いひとの所得税を1年間ゼロにします。
- ☆医療や介護、保育など不可欠なサービスを拡充し、誰もが公平に受けられるよう環境を整えます。
- ☆性別や性的指向に関わらず雇用の機会を確保します。また、LGBT理解促進法案の早期成立を目指します。

02 不安を減らす

- ☆新型コロナウイルス感染症に対応するため、感染症病床と医療従事者の拡充を進め、患者の「自宅放置」を無くします。
- ☆防災行動計画(タイムライン)など地域防災の取り組みを全国に。生き延びる力を身に着ける防災教育を小学校から行います。
- ☆性暴力根絶に向け、性犯罪や性的嫌がらせを厳罰化するため刑法改正を進めます。

03 平和を守る

- ☆「平和主義」を謳う今の憲法を堅持します。「国防軍」「緊急事態条項」設置に反対します。
- ☆特定秘密保護法を見直し、プライバシーを守るとともに、表現・報道の自由と権利を保障します。
- ☆「戦争は勝っても負けても悲惨」と説いた尾崎弴堂の意思を受け継ぎ、平和主義を全うします。

プロフィール
■坊農 秀治(ぼうの しゅうじ)
●1972(昭和47)年1月24日生まれ
●1995(平成7)年同志社大学 文学部社会学科社会学専攻 卒業
●1995(平成7)年岐阜放送株式会社 報道部アナウンサー契約
●1998(平成10)年三重テレビ放送株式会社 報道制作部 入社(2021年 退職)
●2021(令和3)年2月立憲民主党 三重県第4区総支部長 就任



立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

三重県第4区
衆議院議員候補

ぼうの 秀治
しゅうじ

49歳

三重県知事として約10年5か月。全身全霊職務にあたってまいりました。

衆議院議員当選の暁には、この地域はもちろん、県や国全体に仕事で成果を出して恩返しできるように精進してまいります。尊敬する政治家の一人である故・中曽根元首相は、「政治は、愛とか優しいとか、名詞や形容詞で語るのではなく、『私はやる』と動詞で語るものだ」と言葉を残しておられます。その言葉どおり、三重県知事として動きに動いた10年間の「情熱」と「実行力」「決断力」そのままに、さらに衆議院議員として、全力疾走します。なにとぞ、**すずき英敬**をよろしくお願いたします。

この地と日本の未来のために 全力投球で頑張ります。

(前・三重県知事)
自民党第4選挙区支部長



自民党
自民党公認

すずき英敬
えいけい

47歳

- 1 政治人生をかけて、この地の「可能性」を引き出し、「課題」を解決します
- 2 私たちの暮らしそのものである「地方」「現場」に立脚したものとなるよう、国の政策を転換します
- 3 地域の経済活力と豊かさを実現し、「ふるさとに愛着と誇りを持てる魅力づくり」に取り組みます
- 4 現場の最前線で戦ってきた経験をもとに、国のコロナ対策の強化や感染症対策の強じん化を図ります
- 5 コロナ禍で明らかになった「変わらない日本」から脱却し、ポストコロナの新時代を切り開きます



- 6 地域医療の充実、がん対策、少子化対策など、「命をつなぐ」「未来をつなぐ」ために全力で取り組みます
- 7 日本人が誇りを持ち、日本を守り抜くため、「世界から尊敬され信頼される国」へ取り組みます
- 8 10年間育てて頂いた「実行力」「決断力」を活かし、「即戦力」としてこの地と日本に恩返しします
- 9 自民党が変わらなければ政治は変わらない。世代交代も機会に自民党を変える一翼を担います

プロフィール
昭和49年8月15日生まれ。兵庫県出身(本籍地孤野町)。東京大学卒業後、通商産業省(現経済産業省)に。平成21年衆院選で三重2区から自民党公認で出馬も落選。平成23年、当時全国最年少36歳で三重県知事就任(3期)。全国知事会地方創生対策特別本部長、危機管理・防災特別委員長、ワクチン対策特別チーム副チーム長等歴任。妻はシクソロ五輪メダリストの武田美保。一男一女。イクメンオブザイヤー受賞。

第49回衆議院議員総選挙 第25回最高裁判所裁判官国民審査

投票日は10月31日(日)

投票の方法

小選挙区選挙 は **候補者氏名** を記入します。

比例代表選挙 は **政党等名** を記入します。

最高裁判所裁判官国民審査 は

やめさせたいと思う裁判官には上の欄に×を記入します。
やめさせなくてよいと思う裁判官には何も記入しません。

【期日前投票】 10月20日(水)から10月30日(土)まで

(※投票日当日に投票できない方は、期日前投票のご利用をお願いします。)

「だから、私は投票する。」

三重県選挙管理委員会マスコットキャラクター



いっぴよん

三重県選挙管理委員会

※選挙管理委員会では、有権者の皆様が安心して投票できるよう投票所における
新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を次のとおり実施します。

- ・投票所、期日前投票所にはアルコール消毒液を設置しています。
- ・投票管理者、投票立会人、投票事務従事者はマスクを着用しています。
- ・投票所内は扉や窓の常時開放、又は定期的な換気を実施しています。
- ・記載台、筆記具等不特定多数の方が触れる箇所は、定期的に消毒しています。

また、投票所に来られる有権者の皆様におかれましても、次のとおり感染防止対策をお願いします。

- ・投票所にお越しの際は、マスクの着用、咳エチケットの実践をお願いします。
- ・来場前、帰宅後の手洗い等の対策をお願いします。
- ・周りの方との距離の確保に御協力をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症で宿泊・自宅療養等をしている方で、一定の要件に該当する方は、
「特例郵便等投票」ができます。詳しくは、総務省のホームページを御確認いただくか、
市町選挙管理委員会までお問い合わせください。

※投票所入場券が届いていない場合や紛失した場合でも、選挙人名簿に登録され、
選挙権がある場合は投票できます。詳しくは、市町選挙管理委員会までお問い合わせください。